

足袋申けば

もっぴー 茂山宗彦の



最近、度々、旅の日々で、たまにバリ行けば、帰ってきてグルメ番組のロケ!! しかあ〜し、そこには...



2日間で7食、何品食った?

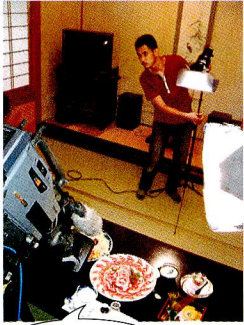
ほらあ〜こんな二人に囲まれちゃあ〜おしまいよ。「もっとセクシーに」とか言って下さいねえ〜って、十分ですから!



若狭路のグルメロケ。ぶっちゃけスケジュールがきつくて東京から京都に帰って来て、そのまま福井入り。1日1食半生活の俺がそんだけ食べられるかかなり不安でした。でも敦賀の駅に着してその不安はぶっ飛びました。二人の美女が笑顔で「よろしくお願います〜」。あ〜早起きして頑張ってきたよかったです。オイ俺、仕事やから当然やろ!

美人アナウンサーと別嬪メイクさんに囲まれて、カニ・フグ・グジ・焼きサバ・サバ寿司・ヘシコ・牡丹鍋と豪華な食事。「もっぴー兄さん美味しいですかあ?」とアナウンサーは急接近。「汗拭きますかあ?」とメイクさんとも大接近。俺もウメロメロのデレデレ。訪れるお店の女将さん、大将さんは優しいし、腹一杯の胸一杯。久し振りに職場で三種の神器が揃い、告白してもうたわ。「コラムにしたいから写真撮っていい?」でもホントに言いたかった事は... いやあ〜ん。ないしよ。

終われば勿論、美味しくいただきます。



お料理が主役です。

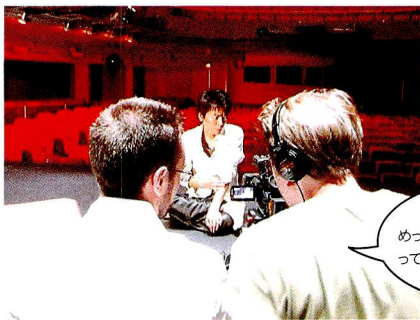
今日はナシ!



いや、今年はナイかも? いいもん。来月も三種の神器!? 揃いそうなんだな。お楽しみにい〜。



HANAGATA 狂言会 in 巴厘。



めっちゃ取材してもらってます。ってかOAいつ?

今回の現場はコンコルド広場近く、アメリカ大使館前の「ピエール・カルダン劇場」。うっふっ、場所わかるかな? 巴厘に4日間っていうのも劇場とホテルの往復ばかり。観光なんてどうも行ってないねん。エッフェル塔、凱旋門、ルーブル美術館、オペラ座、ノートルダム寺院...そして今までも。人がうじゃうじゃ多い所、ほんまに苦手やもん。ずっと現場に引きこもり(笑)。

しかし、狂言以外の仕事もあったんです(現場で知りました)。何とティスカバリーチャンネルの取材。俺は一瞬思った。「狂言師の生顔でも調べんのか?」って。まあ、ありそうな質問でも英語で訊かれると非常にカッコええんです。そやからはっきり意味が分かる質問には、英語で答えましたわあ。「将来の夢とか、ブレシヤーはありますか?」「nothin' in it」お〜い、俺、ホンマかいなあ!! しかし劇場のスタッフが綺麗やったなあ。



これは巴厘でいつも撮る。こっちのマネキンちゃん、ダルそうなんやもん。



美女と一緒に俺、接近しすぎですねえ。



舞台でのアンコール。お客さんと一緒に撮らないとねえ〜。



劇場前、なんか格好エエ感じしません?

もっぴーに質問

Q こんにちは。いつもコラム楽しみにしています。いつも多忙な宗彦さんですが、お休みは月にどのくらいあるんですか? また好きな休日の過ごし方はなんですか?

A たぶん年内は休日、ありません(泣)。たとえば昼に仕事が終われば、翌日夜が舞台だと、数時間休日な気分になります(泣・泣)。レギュラー番組もあるので嬉しい悲鳴です。休日あっても絶対悪い事しませんから(笑)。大切な人とタラタラ、グダグダするのが一番ですかねえ〜。まっ、現在出張中なので、来年、南の島に帰る時がホントの休日ですわあ。

※読者の皆様疑問に思うこと、ささやかな要望などもっぴーが真摯にお答えします。つきましては、どしどし質問をお寄せください。moppy@kyotocf.comまでメールにて。題名は「もっぴーへのラブレター」とご記入ください。

茂山宗彦

1975年6月4日生、O型。「酒、美女、自然」を三種の神器とし、釣り人としての時間を愛す。出鱈目な英語とスラッな京都弁を駆使し、たまに世界中を飛び回る狂言師。

